

2024 年度 生涯学習センター動向

石黒 亮輔

生涯学習センターでは、学内外の生涯学習活動と連携して在学生・卒業生・一般市民に本学の知的財産・教育的資産を開放するという目的のもと、日本女子大学の伝統と特質を活かした公開講座事業及びリカレント教育事業を継続して実施した。以下、公開講座事業とリカレント教育事業に分けて活動を報告する。

1. 公開講座事業

(1) 公開講座

教養講座・キャリア支援講座・リカレント教育課程連携講座に分けて企画・運営し、目白キャンパス・西生田キャンパス合わせて 91 講座を開講、総受講者数は 2,009 名であった。

教養講座は一部を除き対面で実施した。キャリア支援講座及びリカレント教育課程連携講座は講座の内容に合わせ、対面・オンライン・オンデマンドで実施し、高い教育効果が期待できる講座については対面とオンデマンドまたはオンラインとオンデマンドを組み合わせ、また、キャリア支援講座を受講する通学学部生には泉会の支援により受講料を引き下げて講座を提供した。

(2) 地域連携活動

文京区との連携活動

「文京アカデミア講座」として本学のキャンパスで実施する講座を前後期計 4 講座、文京区民がキャリア支援講座を割引で受講できる「資格取得キャリアアップ講座」を 8 講座提供した。また、VOD 講座の仕組みを活用し、文京区が実施した講演会・講座を「文京 e ラーニング」として提供するため、2 コンテンツの作成・配信を請け負った。

川崎市教育委員会との連携活動

川崎市教育委員会・大学等高等教育機関連携事業として、西生田キャンパスで開講している教養講座及びオンライン講座のうち、地域貢献性の高いものを前期 3 講座、後期 3 講座の合計 6 講座を提供した。

2. リカレント教育事業

「再就職のためのキャリアアップコース（以下、再就職コース）」、「働く女性のためのライフロングキャリアコース（以下、働く女性コース）」、「次世代リーダーを目指す女性のための DX 人材育成コース（以下、DX 人材育成コース）」を設置し、全部で 3 つのコースを運営した。

「再就職コース」については、26 回生 6 名が入学し、全員が修了した。このコースは文部科学省「職業実践力育成プログラム（BP）」認定講座及び厚生労働省「専門実践教育訓

練給付金講座」に指定されており、専門実践教育訓練給付金には2名が申請した。

「働く女性コース」については、4回生25名が入学し全員が修了した。このコースは文部科学省のBP認定講座及び厚生労働省「特定一般教育訓練給付金講座」に指定されており、16名が申請した。

「DX人材育成コース」については、2回生の23名が入学し、うち21名が修了した。このコースは文部科学省のBP認定講座のほか、2024年度から厚生労働省「一般教育訓練給付金講座」の指定となり、16名が申請した。

2025年3月8日には、3コース合同の修了式（ハイブリッド）を成瀬記念講堂で執り行った。

（1）教育課程

「再就職コース」はオンライン授業（月・火・土）と対面授業（水・木・金）により実施し、「働く女性コース」と「DX人材育成コース」は全科目オンライン（一部オンデマンド配信）により実施した。

2017年度より野村証券株式会社の寄付授業として、「再就職コース」において後期科目「働く女性のための金融経済講座」を開講し、リカレント生6名が履修した。

「働く女性コース」においても、同寄付授業として、後期科目「働く女性のためのブラッシュアップ金融経済講座」を開講し、リカレント生21名が履修した。両科目とも生涯学習センターのリカレント連携講座として本学在学学生も受講可とし、それぞれ13名と9名の在学学生が受講した。

文京区中小企業ダイバーシティ人材採用促進事業として、「中小企業で働く魅力を知る」（オンデマンド）や「就活必須スキルを学ぶ」（Zoom）を実施したほか、区内中小企業との交流会やオンラインによるキャリアカウンセリングも行った。

学部授業の科目履修については、対象となる「再就職コース」から、前期2科目2名、夏期集中1科目1名が科目等履修生として履修した。

通信教育課程授業の科目履修については、2024年度の受講者は、「再就職コース」から1科目1名、「働く女性コース」から2科目2名であった。

東京商工会議所との連携講座については、連携授業である「ITリテラシー3（Access）」を「再就職コース」から3名、「働く女性コース」から7名が受講した。また、東京商工会議所主催の「会員企業と学校法人との就職情報交換会」に参加したほか、「教育・人材育成委員会」には高梨生涯学習センター所長が委員として出席した。

JWUキャリア科目「女性と職業」については、「働く女性コース」と「DX人材育成コース」から、それぞれ1名の修了生がゲストスピーカーとして登壇した。

（2）再就職支援

必修科目「キャリアマネジメント1及び2」において再就職準備のための書類・面接指導を行う一方で、スタッフによる就職ガイダンスや進路相談等のキャリア支援を実施した。また「修了生との交流会」を実施し、修了生の体験談、参加者同士の意見交換を通して、就職活動へのモチベーションを高めた。

東京労働局との連携では、「マザーズハローワーク東京による再就職ガイダンス」を

2025年1月に実施し、5名が参加した。本課程独自のウェブサイトにより受講生及び修了生に求人情報を提供し、企業への応募を支援した。また、カウンセラーによる個別相談を実施し、延べ32名が参加した。そのほか、リカレント教育課程主催で2社の企業説明会を対面で開催した。

(3) 文部科学省申請事業

文部科学省令和6年度「女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業」における多様なチャレンジに寄り添う学び・社会参画支援モデルを構築するための実証事業

京都女子大学が主として申請を行い、日本女子大学・福岡女子大学・椋山女学園大学・宮城学院女子大学と連携して実施したプログラム「ウィミンズカレッジ (KNFSM) 連携マネジメント入門コース」では、本学は東京商工会議所と連携し「タイムマネジメント講座」を提供した。

(4) 女性のためのリカレント教育推進協議会

女性のためのリカレント教育推進協議会では例年シンポジウムを開催していたが、2024年度は各大学リカレントプログラムの現受講生及び修了生を対象としたワークショップを以下の通りオンラインで開催した。

- ・テーマ：アサーティブコミュニケーション～言いづらいことを伝えるには～
- ・講師：上田晶美氏（株式会社ハナマルキャリア総合研究所 代表取締役）
- ・日時：2025年2月28日（金）19:00～20:30
- ・参加者数：33名

このワークショップは大同生命保険株式会社の寄附支援により運営した。

(5) 外部評価

1) 日本女子大学リカレント教育課程外部評価委員会

外部評価委員会は委嘱期間の関係から、2024年度中の開催を見送り、2025年度に開催することとした。

2) 日本女子大学リカレント教育課程DX推進事業実施委員会

各委員にDXに関するアンケートを実施。DX人材育成コースについては高い評価を得た。DXを推進する上では、デジタル技術力だけでなく、マネジメント力や課題発見力が重要であることが複数の企業・団体から示された。その上で、今後本コースのカリキュラムに期待することとして、「プロジェクトマネジメント」や「SNSマーケティング」といった科目設置の要望も挙げられた。

(6) 広報・取材等

受講生の募集に関しては、「スタディサプリ」((株)リクルートの運営)への広報を行った。受講希望者は、スタディサプリを通して、あるいはリカレント教育課程に直接資料請求をし、入学キャリア説明会に出席した人を対象に入学試験を実施した。

また、取材やその他の要請への対応は以下の通りである。

1) 取材・掲載

- ・武蔵野大学出版会：書籍「日本はなぜいつまでも女性活躍後進国なのか」にて高梨博子生涯学習センター所長の講演「ビジネスと女性のリカレント教育」を掲載 2024年5月21日
- ・公益社団法人私立大学情報教育協会「大学教育と情報」2024年6月号：『女性のための「DX人材育成コース」とリカレント教育』にて高梨博子生涯学習センター所長のインタビュー掲載 2024年6月30日
- ・中日新聞社：「DXの取り組み 県町村会研修」について石黒亮輔リカレント教育課程主任の講演の様子を掲載 2024年8月24日
- ・日刊工業新聞：「大学リカレント 学び方改革を先導」について高梨博子生涯学習センター所長コメント掲載 2024年9月17日
- ・雑誌/web リクルート カレッジマネジメント 242号：「企業と一緒にリスクリングで女性のDX人材を育てる」において高梨博子生涯学習センター所長及び石黒亮輔リカレント教育課程主任のインタビュー掲載 2024年10月1日
- ・労働新聞社 週刊「労働新聞」：「特別企画 大学に聞く 最新就活事情」において請川滋大学生生活部長及び高梨博子生涯学習センター所長のインタビュー掲載 2024年10月15日

2) 視察・ヒアリング対応

- ・滋賀県町村会：視察があり、リカレント教育課程概要説明及び授業見学を実施 2024年4月26日
- ・京都女子大学ジェンダー教育研究所：ヒアリング要請があり、リカレント教育課程概要説明を実施 2024年6月19日
- ・青森中央学院大学：ヒアリング要請があり、リカレント教育課程の概要説明及びヒアリングを実施 2024年8月29日
- ・学校法人立命館およびインパクトラボ：ヒアリング要請がありリカレント教育課程及び生涯学習センターの役割・歴史・体制について説明 2024年11月12日
- ・文部科学省受託事業「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」における受託先の株式会社三菱総合研究所：インタビュー調査の要請がありオンラインで実施 2025年1月10日
- ・独立行政法人国立女性教育会館：「女性のキャリア形成や意思決定過程への参画に関する調査研究」に係る依頼があり、リカレント教育課程の概要説明を実施 2025年2月19日

3) 講演・登壇

- ・滋賀県豊郷町の令和6年度滋賀県町村会DX取組事例報告会研修：「女性活躍×DX」について石黒亮輔リカレント教育課程主任が講演を実施 2024年8月23日
- ・私立大学情報教育協会の「教育イノベーション大会」(分科会:ICT活用によるリカレント教育の紹介)：『女性のための「DX人材育成コース」とリカレント教育課程』について高梨博子生涯学習センター所長が講演を実施 2024年9月5日
- ・文部科学省「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」第2回テーマ別勉強会・分野横断連絡調整会議：石黒亮輔リカレント教

育課程主任が本課程について説明を実施 2025 年 2 月 5 日

以上が昨年度の報告である。2025 年度の展望としては、受講生が減少している「再就職コース」については、受講生獲得を目指し、定員・授業料・修了単位数・開講科目を変更することとした。また、次年度に向けて「働く女性コース」と「DX 人材育成コース」を含め、変化する社会のニーズに照らして内容や運営の抜本的な見直しを図る予定である。

(いしぐる りょうすけ 生涯学習センター所長)

データ提供：生涯学習課